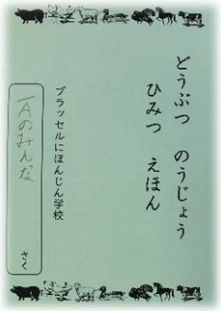
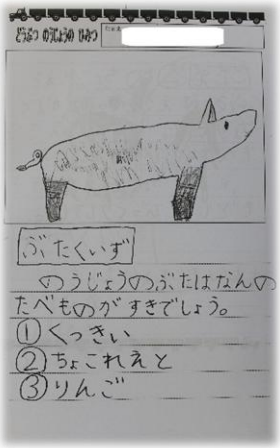
令和８年度　第４４号

機密文書？「どうぶつ のうじょう ひみつ えほん」（小１）

10月21日（水）11時43分、校長室に1冊の報告書（?）が届きました。表題は「どうぶつ のうじょう ひみつ えほん」。「ひみつ」という只ならぬキーワードが付いた報告書ですから、受け取った私にも一瞬、緊張感が走ります。「もしや機密文書なのか!?」……いえいえ、そんな物々しいものではありません。これは1年Ａ組のみなさんから届けられた「動物農場体験」（9月22日実施）のレポートです。訪問先で教えていただいた情報が、楽しいクイズ形式でまとめられています。



例えば「とらくたあ（トラクター）クイズ」では、「Q：せんせいより とらくたあの たいやのほうがたかい ○か×か」という問題があり、答えはなんと「○」でした。他にも「ぶたクイズ」（写真下）では、「Q：のうじょうのぶたはなんのたべものが すきでしょう。①くっきい（クッキー）②ちょこれえと（チョコレート） ③りんご」とあり、正解はなんと②の「ちょこれえと」！



また、答えのページの後ろには、「うしに えさをやって なかよくなりました。いっぱい えさを たべていて、びっくりしました。ぶたがちょこれえとが すきで びっくりしました。」という素直な感想も添えられていて、この報告書は本当に読み応えバッチリでした。

今回の農場体験では、このように振り返ってまとめることで、学校に戻ってきてからさらに学びが深まりました。この素敵な「機密文書（?）」は、近いうちにお家に持ち帰ると思います。大人でもなかなかの難問が揃っていますので、ぜひご家族の団欒のひとときに、みんなで挑戦してみてください。

「育てる喜び」から「味わう喜び」へ

10月26日（月）の５時間目、小学部2年生の子どもたちが大きな「挑戦」に臨みました。その内容は、（初めての）包丁使いです。調理する食材は、先日生活科の授業で収穫したばかりのサツマイモ。カボチャほどではないものの、大きくて硬いサツマイモは、（初めて）包丁を握る子どもたちにとってなかなかの「難敵」です。

実際の調理では安全を第一に考え、少人数ずつのグループに分かれて実施しました。刃物を扱うため教室には心地よい緊張感が漂っていましたが、どの子も真剣な表情で集中し、全員が怪我なく無事に活動を終えることができました。自分で収穫した野菜を自分の手で切る、素晴らしい経験となりました。

※包丁はとても便利な道具ですが、一歩間違えると大怪我につながります。おうちで練習する際は、必ず保護者の方が見守る前で使うよう、声かけをお願いいたします。

全校朝会

10月21日（水）の朝の時間、全校児童生徒が体育館に集まり「全校朝会」を行いました。

最初に行ったのは「退学・編入者挨拶」です。毎回のこのプログラムで感じるのは、やはり退学する児童生徒の皆さんとお別れする寂しさです。「新たに編入する人の方が多いから」と割り切れるものではありません。お別れする皆さん一人一人と共有した、大切な時間があるからです。休み時間や行事でしか交流のない私（校長）ですらそうなのですから、担任の先生やクラスメイトの思いはなおさら強いはずです。帰国先での皆さんのご活躍を、心から応援しています。

続いての「校長の話」では、まず「活躍した人」を紹介し、次に先日行われた合唱祭について振り返りました。学校とは、行事への取組を通して多くのことを学ぶ場所です。今回の合唱祭でも、一人一人にたくさんの学びや成長があったことと思います。ここで得た経験を、ぜひこれからの学校生活に活かしてください。

今月も元気に全校朝会ができました。来月もまた、みんなで素敵な時間を共有したいものです。

校長のつぶやき 「北米・欧州校長会」

10月22日（木）～23日（金）の1泊2日で、「令和8年度 北米・欧州地区日本人学校校長会研究協議会（以下、校長会）」に参加してきました。会場のアムステルダム日本人学校は、関係者から「JSA」と呼ばれています。私は比較的会場に近い方でしたが、遠い方はアメリカから3名の校長先生が参加されていました。（実は2年前には本校で開催されています。）

実はこの JSA の外見は、我が JSB によく似ています。JSA の事務長さんに聞くと、同じ業者が建てた物らしく、我が JSB が少しお兄さん（お姉さん?）だそうです。

研修会では、3回の「分科会」があり、私は①「特色ある学校づくり」②「働き方改革」③「（赴任）2年次」に参加しました。最初の分科会では「校長先生って個性豊かだなぁ」と思わず感心。あるイタリアの校長先生は「もっと偉人について学ぶべきだ」と、生成 AI で BGM 付の動画を制作して YouTube にアップしているそうです。また別の学校では現地校とのホームステイ交流を長年続けており、「泊まれない子は?」と質問したところ、「想定内」で夕食後に帰宅する場合もあるとのことでした。

この参加に伴い、授業変更をした中3生からは、「2時間続きの数学なんて…」と悲鳴に似た訴えも聞きましたが、そんな無理をしても参加した価値のある会合でした。

ここで得た情報と刺激は、今後の JSB に還元していきます。